

第5話 たび丸、まちをつくる





たび丸は最近いろいろまちについて勉強しているらしいじゃないか。たび丸にひとつまちづくりを任せてみようかのう。



たび丸、野路^{のじ}まちづくりを命じる。



え～、そんな～。



また大役を授かったわね。



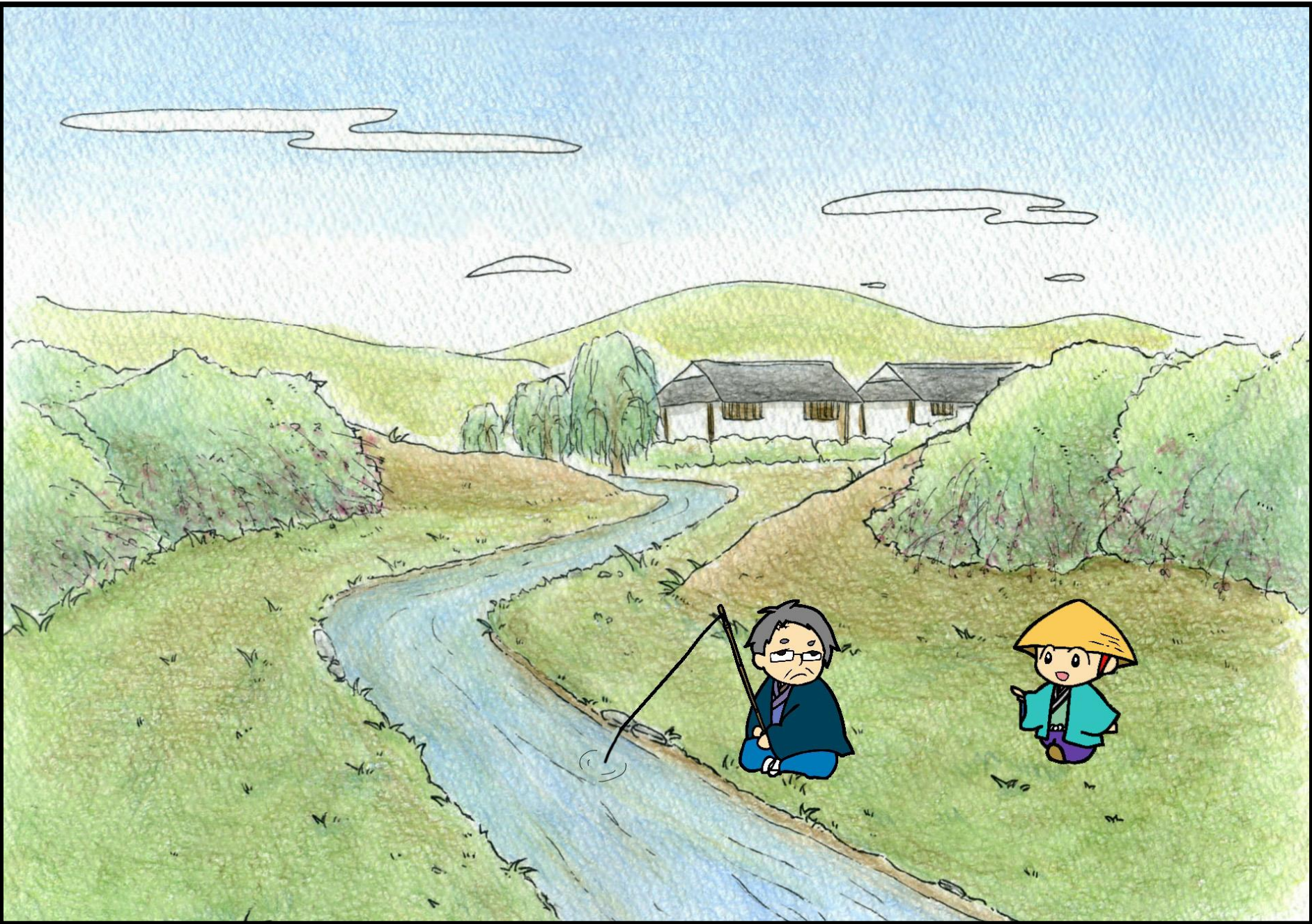
どうしたらいいんだろ。

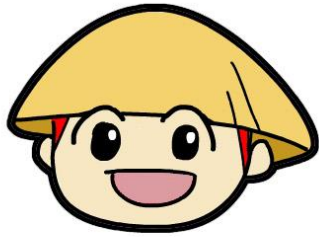


玉川に行ったら、なんでも知ってるお爺さんが
いると聞いたけど、行ってみたら？
何かわかるかもしれないよ。



よし！行ってみよう！





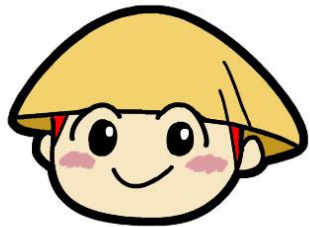
ヒデ爺さん。



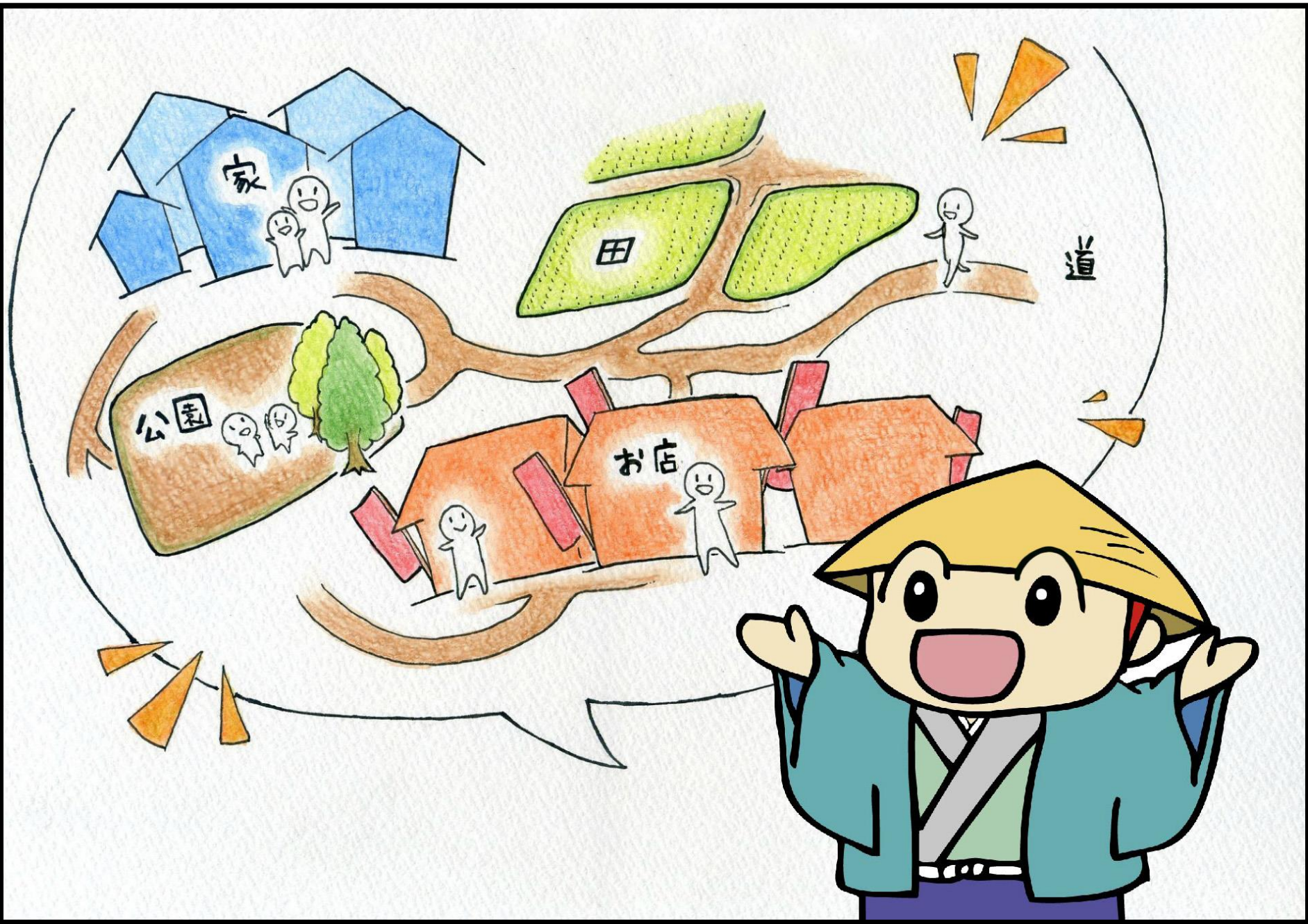
その顔はまちづくりで悩んでいるんだね。



どうしてわかったんだい、ヒデ爺さん。



野路を住み良いまちにしたいんだ。
まちなみが統一されていて、道路も広くて、
公園がたくさんできればいいな！





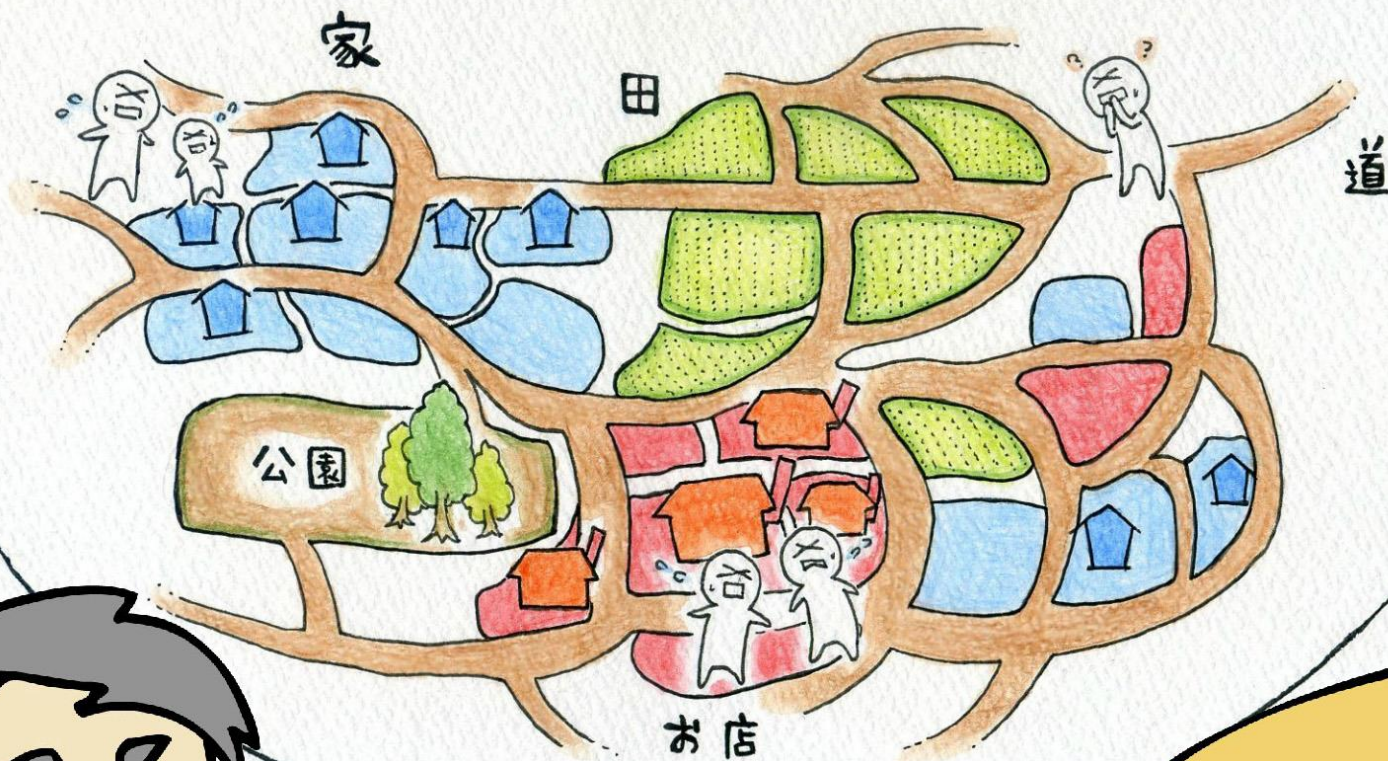
どうやって実現するんだい。



そら、土地をどんどん買って、
道路や公園をつくっていけばいいじゃないか。



それでは、統一性や計画性のない
まちとなってしまうかい。





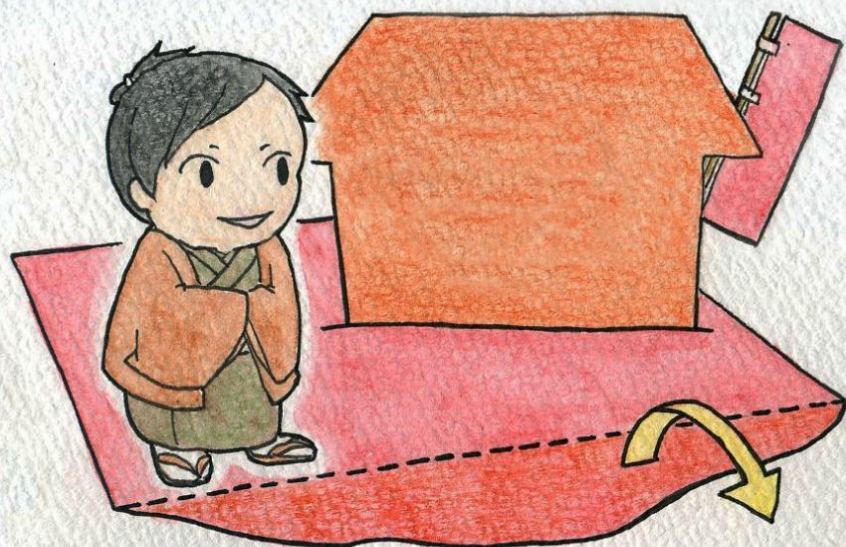
こんな風に統一性のない不整形なまちと
なってしまうんだよ。



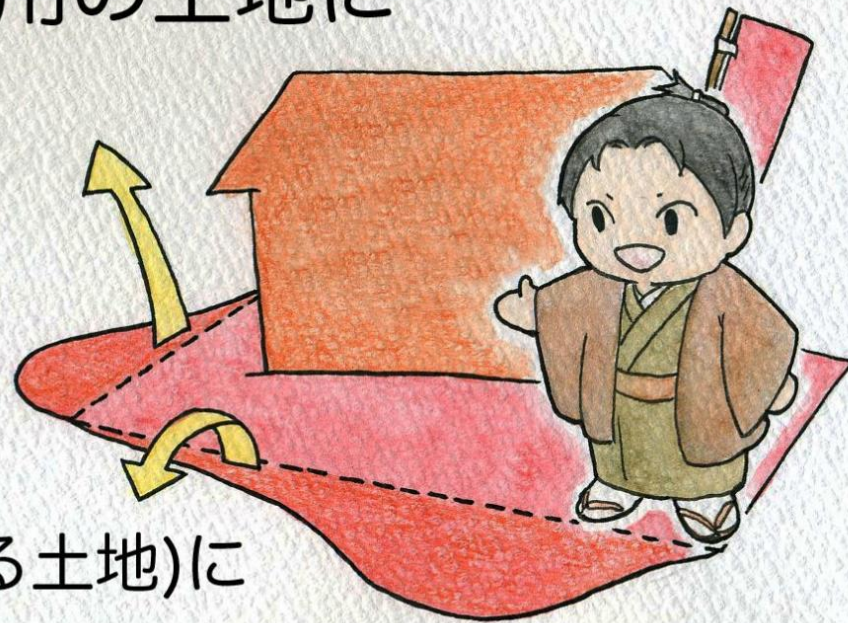
それじゃあ、まちなみはきれいにならないね。



みんなで少しずつ権利に応じて
土地を提供してもらい、必要な道路や公園を
整備するのが土地区画整理事業なんだよ。



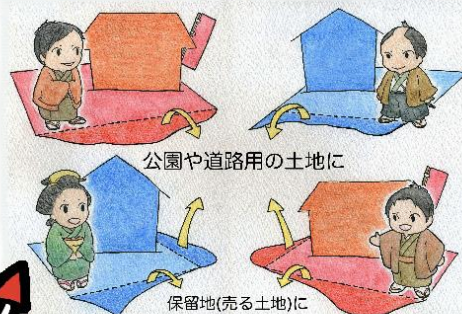
公園や道路用の土地に



保留地(売る土地)に

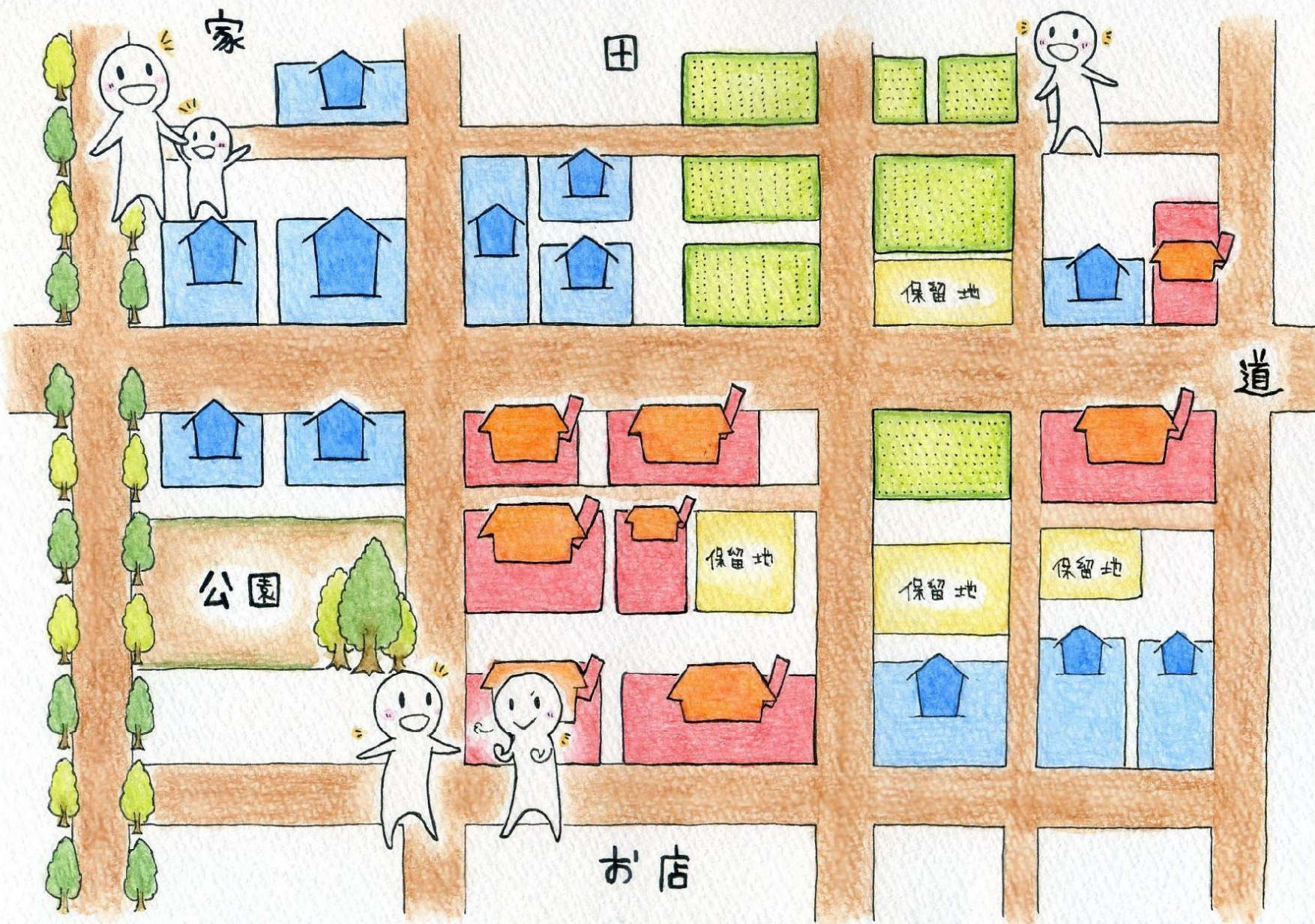
■土地区画整理事業とは

土地区画整理事業とは、道路、公園、河川等の公共施設を整備・改善し、土地の区画を整え宅地の利用の増進を図る事業で、公共施設が不十分な区域では、地権者からその権利に応じて少しずつ土地を提供してもらい（減歩^{げんぷ}）、この土地を道路・公園等の公共用地が増える分に充てる他、その一部を売却し事業資金の一部に充^あてる事業のことをいうんだよ。



土地区画整理事業は、原則市街化区域でないとできないんだよ。

整理されることで、より安全で、快適なまちになって、家やお店ができて、人が集まりそうだね。





これが土地区画整理事業をした時のイメージだよ。



うわ〜！
すごく整理されたきれいなまちだね。



でも、時が経つにつれ、
統一性のないまちになったりしないかな。



それは困るから、
そうならないように地区計画を立てるといいよ。

■地区計画とは

地区計画というのは、それぞれの地区の特性に応じて、良好な都市環境の整備と保全を図るために必要な事項を定める「地区単位の都市計画」で、地区の目標将来像を示す「地区計画の方針」と、道路や公園等の地区施設の配置や建築物の建て方のルールなどを詳細に定める「地区整備計画」で構成されるものをいうんだよ。



具体的には、建てることのできる建物を決めたり、建物の高さを制限したりするルールを決めることができるんだよ。

道路沿いの緑化のルールを作って、うるおいのあるまちにすることもできるんだね。
よーし！このまちをどんどんよくしていくぞ！



くさつ博士のホントの歴史

^{せ た きゅうりょう}瀬田丘陵には、いくつかの製鉄遺跡が見つっています。製鉄遺跡とは、^{かいこん}原野の開墾や水田などの耕作に使う農具、また武器や武具などの鉄器のための鉄を精製した跡のことです。野路の野路小野山遺跡では、製鉄に利用した炉跡の基底部、^{すみがまあと}炭窯跡、また鉄器を作ったとされる鍛冶炉^{かじろ}が発見されました。操業期間は奈良時代中ごろと考えられています。

そして時代は下り、野路には鎌倉時代に東海道の野路宿が置かれます。源頼朝によって鎌倉幕府が開かれ、その全国政権へと発展していくなかで、駅制の整備がすすめられ、京と鎌倉を結ぶ東海道の整備がされるのです。野路宿の正確な位置はまだ不明ですが、野路の集落の西にはその比定地とされる野路岡田遺跡があり、また鎌倉時代に書かれた紀行文などにもその名前を見ることができます。

その野路宿の近くには、「野路の玉川」と呼ばれ、古くから和歌にも詠まれた名所があります。野路の玉川は山城（京都）の井出、紀伊（和歌山）の高野、摂津（大阪）の三島、武蔵（東京）の調布、陸奥（宮城）の野田とともに「諸国六玉川」とされました。野路の玉川の名は平安末期の『千載和歌集』に源俊頼の作として載っており、その後も歌川広重らによって錦絵版画などの題材になっています。

